

IT（パワーポイント）を使った世界史 A の授業

2005年1月6日 大阪府立清友高等学校 増田 真弓

A はじめに

1 学校の概要等

- ・近鉄信貴線（単線2両の車両）服部川駅下車歩いて10分。高安山麓の田園地帯で周囲は造園業を営む住人が多く、緑に囲まれた閑静な環境にある。
- ・私立女学校から八尾市立女学校へ、さらに大阪府立男女共学校にと変化に富む歴史昭和16年私立女学校として開校。昭和31年八尾市に移管。昭和54年大阪府に移管し男女共学となる。
- ・学校規模は1、2学年各6クラスと3年7クラスの計19クラス。生徒数712名。
- ・生徒の進路は、大学・短大・専門学校など進学が約四分之三、就職が約四分の一であり、大学・短大・専門学校など進学先はすべて私立である。
- ・部活動は、生徒の3割程度しか参加していません、低調であるが、技術指導できる顧問などがついている部は、熱心に活動している。生徒会も熱心に年間行事に取り組んでいる。
- ・授業は、数学は少人数展開（2クラス3講座展開）を教育委員会から認められているが、国語・英語では、当該教科の余裕のある範囲で少人数展開（2クラス3講座展開）をしている。力のある生徒と関心・意欲のない生徒との差がクラス内で激しく、どの教科も40人定員の授業では、工夫と努力が必要である。
- ・各学年の階ごとに担任団室があり、生徒指導室も常駐体制をとって、生活指導に目配りしている。

2 教育課程

- ・3学期制で3学期を除いて、各学期ごとに欠点科目（実技科目を除く）の追試を行ない、低学力の生徒に対してきめ細かいフォローを行っている。
- ・進路指導は、進路部を中心として強力に取り組んでいる。1年から3年まで、1学期総合学習の内容は「進路」であり、進路部が協力している。3年生に対しては、希望進路を大学・短大・看護医療・専門学校・就職・公務員に大きく分けて、分野別に進路部と担任団で、手を取り足を取り懇切丁寧に指導している。
- ・現3年生は、旧カリキュラムから新カリキュラムへの移行過程のカリキュラムである。総合学習実施のために、1年次に総合学習を試行した。現2年生から新カリキュラムで毎学年1単位で総合学習を実施している。しかも2年次で類型選択と科目選択履修を行っている。（文型、理系。）3年では、進路の多様性にあわせて、さらに多様な科目選択履修を可能にするように、学校設定教科・科目も含め多くの選択科目を用意している。
- ・社会科の新課程カリキュラム
1年、地理A（2単位）、2年、世界史A（2単位）、現代社会（2単位）、文型はさ

らに日本史 A (2 単位)、3 年、政経 (2 単位)、文型は世界史 B、日本史 B、地理 B (各 3 単位) より 1 つ 選択。

B 世界史 A の授業について

- 1 教科書・資料集 3 年は清水書院：新世界史 A、2 年は三省堂：世界史 A
資料集は 2、3 年とも帝国書院：タペストリー

2 目標

1) 目標内容

- ・世界史を学ぶことにより、現代世界の成り立ちと構造を歴史的に理解させる。
- ・世界史を学ぶことにより、世界の中の日本という視点を持たせる。
- ・世界史を学ぶことにより、多様な文化、世界があることに気付かせる。
- ・世界史を学ぶことにより、平和と戦争 (暴力) について考えさせる。

2) 具体的取り組み

- ・ 1 年間で学ぶ予定の教科書範囲に登場する人物を国ごとに整理した表を作製して、国名を空欄にして、クラス全員に担当させて国名を調べさせる。
- ・ 国旗カードを利用して、クラス全員に上記登場国の 1 つ担当させ、担当国の国旗について発表させ、現在の行政世界地図上の位置を確認させる。
- ・ 授業している国や問題事象と関連する、新聞記事を積極的にとりあげ授業を活性化させる。記事をコピーして、質問に答えさせるプリントを作製し、過去の歴史ではなく、現代に繋がる歴史であることを実感させる。(このプリントは、黒板を写したり説明を聞くのではなく、自分でやらないとだめなのでとても生徒が熱心にやります。その間、生徒一人一人の理解力の差に個人的対応をして、質問に応じてやれるのでこちらも気持ちにゆとりが生じます。)
- ・ ビデオなど視聴覚教材も活用して、現代につながる生きた歴史を学んでいると実感させる。
- ・ 授業プリントでは、必ず「地図」作業をいれることで、学んでいる国の位置、事件の場所を理解させる。

C 授業実践報告

【対象】世界史 A (3 年生)

【テーマ】「アフガニスタンについて学ぶ」

【ねらい】

- 1 アフガニスタンの抱える地雷の問題を、民族紛争の歴史から考えさせる。問題解決に日本の NGO、しかも本校の学区にある NGO が本校生徒の出身中学の協力をえて、支援をしていることを知らせて、国際協力は、身近にあり、誰でもできることをわからせる。
- 2 パワーポイントを使った授業をしてみたかった。ビデオを見せたり、インターネットでユネスコ世界遺産や各国美術館作品を調べさせたりはしたことがあるが、パワーポイントで映像を提示したり、ホームページをその場でスクリーンに映し出して説明するやりか

たは、生徒にとってもわかりやすいと思った。文部科学省の研究指定ということで、パワーポイント作製を援助いただき、はじめて、チャレンジしたのですが、技術的には、おんぶにだっこの状態でした。授業後アンケートをとり、生徒の感想を確認することでパワーポイント授業の効果を調べることができました。

【学習内容の構成】

1 指導計画

事前指導：本校は、2年次に人権教育として「平和」をテーマとする映画鑑賞を実施している。今回は地雷で義足となったアフガニスタン少女と義肢装具士を目指す聴覚障害をもつ女性の交流を描く「アイ・ラブ・ピース」を鑑賞する。アフガニスタンに何故地雷があるのかを理解させるため、HRではなく世界史の授業で事前学習を企画した。まず、アフガニスタンの現状解説と映画のストーリーを簡単にまとめたA4裏表プリントを配布し、B5の質問用紙に「平和」についての生徒の考えを記入させた。アフガンの少女の望む「平和」と日本の高校生が享受し、考えている「平和」を対比させることがねらいであった。これは、パワーポイント授業の1時間前授業で15分ほど使って行った。次回のパワーポイント授業に対する動機づけとして必要であった。

学習内容：アフガニスタンについて学ぶ（50分）

2 授業展開

- 1) 実施：04年11月17日（水）6限目、本校 社会科講義室
3年1組 理系18名
- 2) テーマ：地雷で義足となったアフガン少女を通じて、民族紛争の歴史を学ばせ、NGOによる国際協力と平和への試みについて考えさせる。
- 3) 授業方法：パワーポイントを使用し、現地で地雷回避教育のため使用されている地雷模型・絵（布）を展示し説明する。パワーポイントの場面ごとにメモできる機能を利用して、場面付き質問プリントをB4裏表で作製した。

4) 授業展開

学習内容と学習課題（番号）はパワーポイント	指導上の留意点など
【導入】前時のアフガン少女と地雷を思い出させる (1)	HR 教室とは違う、広い社会科講義室の指定座席で静かにスクリーン映像に注視させる。
【展開】 (2) アフガニスタンの位置を投影世界地図で知る	配布プリントで位置に を記入できたか、生徒に問いかける。
(3) アフガニスタンの首都と隣国を地域地図で知る	隣国名を順に画面に出すことで興味をもって、国名を確認させる
(4) 少女のメッセージを通じて地雷が破壊した平和を知る	戦争により地雷がまかれ、その地雷によって自由に歩けない恐怖を

<p>(5) イスラム文化と女性について知る * ブルカ着用の女性をビデオで見せる。</p> <p>(6) インターネットで HP アフガン歴史年表提示 プリントの答えを順次パワーポイントで提示</p> <p>(7) 様々な種類の地雷 * 地雷模型と絵を提示して解説</p>	<p>理解させる</p> <p>スカーフを被るのは、文化(伝統)であって強制ではない、しかし強制されたブルカは不自由な衣服であったことに気付かせる。</p> <p>プリントで年表に答えさせる 大きな流れを説明して理解させる。</p> <p>「悪魔の兵器」「貧者の兵器」と呼ばれる地雷の特色を理解させる</p>
<p>【まとめ】</p> <p>(8) アフガニスタンの地雷と日本 NGO の支援 * NGO の HP で身近な国際協力を知らせる</p> <p>授業についてのアンケート実施</p>	<p>山岳地帯で地理的に交通機関が困難なでも、地元の小学校が NGO に協力していることを知り、援助は誰にでもできることに気付かせる。</p>

【生徒の感想】

アンケート(生徒用) 提出者13人

質問1 今回の授業はあなたにとって役に立ちましたか。

1 とても役に立った	2	2 役に立った	7
3 余り役に立たなかった	2	4 全然役に立たなかった	2

質問2 普段の授業と比較し、わかりやすかったですか。

1 とてもわかりやすかった	1	2 わかりやすかった	11
3 少しわかりにくかった	1	4 とてもわかりにくかった	0

質問3 授業に集中して取り組むことができましたか。

1 最後まで集中できた	7	2 途中で少しだれたが最後まで取り組めた	5
3 途中から集中できなかった	0	4 初めから集中できなかった	1

質問4 授業の内容は理解できましたか。

1 とても良く理解できた	1	2 だいたい理解できた	11
3 余り理解できなかった	1	4 とてもわかりにくかった	0

質問5 講師が用意した教材(説明用資料)は、わかりやすいものでしたか。

1 とてもわかりやすかった	2	2 わかりやすかった	7
3 少しわかりにくかった	3	4 とてもわかりにくかった	0

質問6 今回の授業テーマに興味を持ちましたか。

1 強い興味を持った	1	2 興味を持った	5
3 余り興味を持てなかった	3	4 全然興味を持てなかった	4

質問7 今回のような授業をもう一度受けたいと思いますか。

1 是非受けたい	3	2 受けたい	7
----------	---	--------	---

3 余り受けたくない	3	4 絶対受けたくない	0
------------	---	------------	---

質問 8 今回授業を受けて、普段の授業と違うことがあったら記入してください。

*地図がみやすかった。*何故だかわからないが、わかりやすかった。

*いつもの授業より先生が、質問したり、こちらが質問したりして勉強する気になった。
*画面で見やすかった。*説明も画面でわかりやすかった。

【授業を実施して】

- 1 生徒の食いつきは良かったし、いつも講義形式で一方通行だったのが、色々問いかけて生徒の意見を聞きながら進める形式だったので、生徒も満足感が高かった。
- 2 公開授業で見学して下さった先生のコメントでは、地雷模型を提示、説明していた時の生徒の、集中度はすごかったそう。映像より、実物のインパクトの強さを指摘して下さい。パワーポイントの使い方は、初心者で陳腐なものであったが、とりあげた内容（地雷問題と NGO 活動）は新鮮で良かったと評して下さい、苦労して教材化した甲斐があったと嬉しかった。